



純潔の王冠の下では

るびーはでんがいのした

Adult Only





……ア・ン・タ・が・い・い・っ・て
言・っ・て・ん・で・し・ょ!?

女の子に
これ以上
言わせないで
よね



わかったわかった……
それならば
一時的に私は
君のサーヴァントを
やめて

一人の男として
君をエスコート
しよう



それでいいな?
凛



……
うん



凛
くさくさを向け

近!!



近い近い近い!!
アーチャー!

きやつ



顔が近…
はずかし…

だつ…
だつて



君は
キスもしないで
事を致すつもり
かね?



…
よろしい

ではまず
ハグからだ



…緊張の
しすぎだぞ?

…遠坂の
家訓は?

…ツ…
「常に余裕を持って
優雅たれ」よ…



まだだ

腕と脚を私に回して

しがみつくとように



—

……



……
ン……これで
いいの？

なんか
変じゃない??

そうだ凛
もっとしっかり

う……？

カエルっぽい……
オンパバッタ？



服が邪魔だな…凛
脱がしてやろう



どうだ凛
落ち着いたか？

えっ!?



……ん…
まだドキドキ
するわよ…

でも
ヤな感じ
じゃない…
あんたの
鼓動も
聞こえるし



アーチャーの
長い指が…

下着……
新しいやつだけど
おかしく
ないかな…？



どうしよう…
私のおっぱい…
アーチャーに見られ
ちゃう…

……ッ…





ほう…
レースの薄ピンクか…

ふん、あ♡

君のささやかな
胸によく似合って
可愛ら—



し…



あんだ
サイテーね！
…知ってたけど

は！

な…何をす…ッ
私はただ褒めた
だけで…

デリカシーも
摩耗したか
コンチク
シヨーツ！！



な…なんだ涼
ムネのサイズをそれほど
気にしているのか？
桜ほどではないが
ちゃんとするでは
ないか

いぬいぬ

あ…安心しろ
もっとすごい
マナ板も
見たことあるぞ

うるさい
だまれーっ！！

こんな時に
他の女の子の
話すんなア



凜！君は羞恥心を
攻撃に変換して
誤魔化そうとするのは
やめたまえよ！

うるさい
うるさい!!
セクハラ
アーチャー！

君はもう
覚悟したのでは
ないのかね!?



……したわよ

……

……とつくの
昔にね



ああ…凛
きれいだよ



…ねえ
アーチャー
…これで良い？



あんたも
脱いだのね

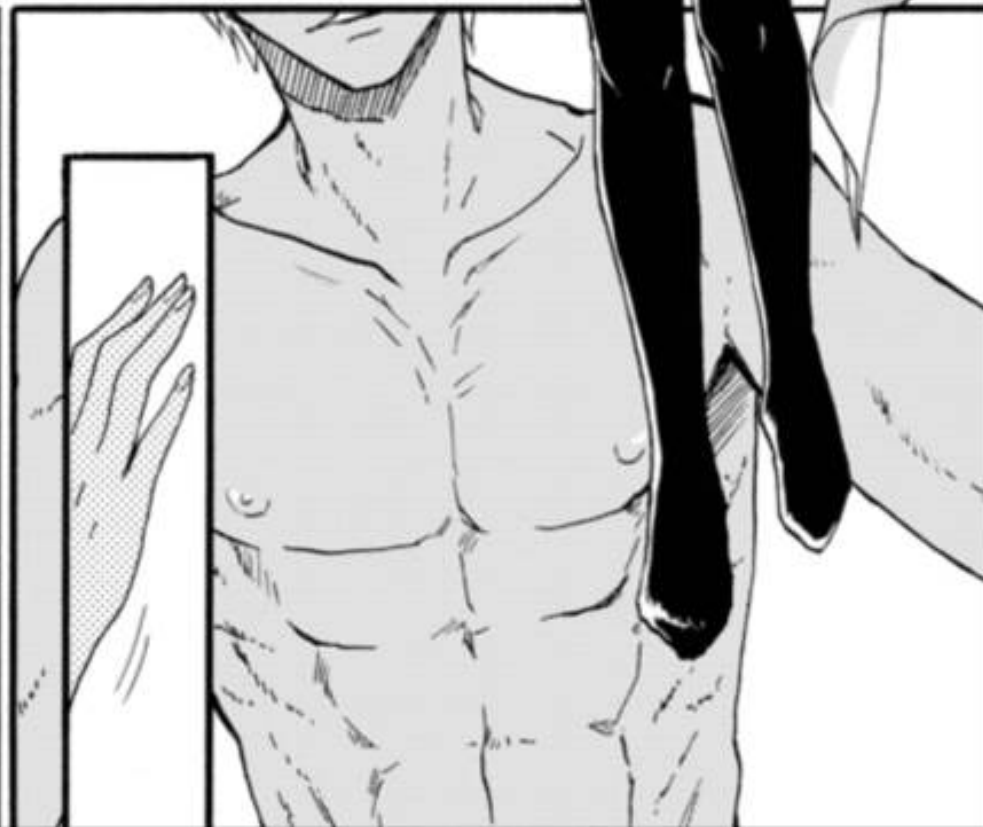
ほお



それなりの努力の
結果だからな
褒めていただけると
悪い気はしないな

すっごい筋肉…

固いわ…





人じゃなくて
サーヴァント
だけど


.....
おどろいた...
人肌ってこんなに
あったかくて
きもちいいのね...




.....ああ
ハダカというのも
悪くないもの
だな...?



.....!!
どうした
源?




うれしいのよ
アーチャー…




幼い頃から徹底して
教え込まれたわ…
私には—
遠坂家に代々伝わる
悲願だとか…

聖杯戦争に参加して
勝ち抜くだとか…
魔術師として
大切な使命があるの

…涼…



誤解しないで
魔術師である事は
誇りに思ってるわ
お父様との思い出も…



でもね…だからこそ
特別な魔力のアドバンテージに
なりうる『純潔』は—
戦略として…
女としては不本意な形で
使い潰すことを
覚悟してたのよ…

命がけの
聖杯戦争の為なら
手段なんて選んで
いられないし…



私にデリカシーとか
ロマンティックさを
求められても
困るな！

その代わりに…

君がちゃんと
気持ち良くなるまで
奉仕させてもらうと
しよう

んな…

凛
目を逸らすなよ

君が
満足するまで

たっぷり
愛してやる

!!



やわらかいな

ひっっん



んっっ

きし



んんっ

感度も
良さそうだ...



あう...
やだ...ツ、ムリ...
恥ずかし...っ

アーチャーの
舌が...
ぬるぬるするっ...



や...やあ...
♡

凛
目を瞑るな
私を見る

んうっ







ふいふいふい

見られた…
見られちゃった…
…恥ずかしい
何これえっ…

そんな姿を
姿を見せられては
私もガマンできんな…

ひどい
こわいっ…

からだ…へん…
いやああ…

あ……

力を抜いて
いろ

君の中に
入るぞ 凛

力むと余計
痛む

は……

いったま

凛 奥まで
入ったぞ

キツ…

息を吐け！

ふいふい

く……

ふいふい
ふいふい



痛いのに—
苦しいのに—

ア…チャ…



すこく
あったかい—

おんがら
おんがら

うれしい—



へるしんがら—

おんがら
おんがら

おんがら

おんがら



あ、あ、あ

ん…
あん、

おんがら
おんがら

おんがら
おんがら

涼の中は狭いな...

気持ち良すぎてあまり保ち...そうに...ない...

まだ痛いのにー気持ち良くなってきた...かも...

...

はあ、はあ、

うーっ...

すごい... ゆっくりだとキモチイイ

うあつ

はーちゃん

涼キスがしたい

あつ...

そんなに奥突かれたら... おかしくなっちゃう

くる...

なんかきちゃうっ...

私っこんなもの知らない...ッ

あんっ...

...S...V...

S...S...V

イン...



純潔
の
下
で
は
天蓋
の
下
で





いたた…
まだなんか
刺さってるみたい

まともに歩ける
気がしないわ…



…ねえ
アーチャー…
私…

大人に
なっちゃったね



いやー…
まだまだだぞ
涼

その、なんだ
大人の女性というのは
憤みがあつて…
男の顔をいきなり殴つたり
蹴つたりしないものだ

ハア!?
アンタさっきのアレ
まだ根に持つてんの?!

サーヴァントでしょ
そんならい…
どつてこと
ないくせに!

あとシートは
洗つといてよね!

主従関係のまま
事を致すのを
嫌がつたのは
君じゃないか…

第一…別に
私は構わんが
血の付いた
シートを男に
洗わそうとする
のは一般的に
どうかと思っ
んだが…

普通は
恥じらつて
自分でやろう
とする
ものではないか
ね…?

私の事を何だと
思つてるんだね
君は…

えっ?

家政夫でしょ?

…地獄へ堕ちろ
マスター